

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 長谷川 千田 豊島 坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画

利用開始後の情報をまとめて行けるシートの開発や、具体的なサービス内容や状況の確認が出来る方法を考える。

前回の改善計画に対する取組み結果

以前のアセスメントシートより把握しやすくなっているが、全体的に利用開始後に情報が集まる事が多くそれが集約できていない事がほとんどである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		4	2	1	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		4	3		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	4	1		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	5	1		7

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前にミーティングで情報共有できていると思う。利用者の不安な気持ちなど聞いたり安心できる声掛けが出来ているとおもう。表情声が明るく利用者さんに支援できている。新規の方は具体的に関わるうえで必要な情報を意識して収集するようにしている。利用者の声掛けは日常会話含めて積極的に出来ている。サービス移行する利用者への訪問時の声掛けや配慮(事業所の名前を合わせる等)を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用開始前の情報に限度があると思うが、事前の情報が少なく情報が行き届かなかつたり共有できていなかったりし、留意点などが分からないまま支援が始まる事がある。書面だけの情報共有となることもある。ミーティングを毎日開催できていない為利用者の情報がスムーズにつながらない事もある。本人の思いと家族の思いが異なるケースがあるが、家族の思いで利用者の支援内容が変わることもある。意思表示が困難な利用者の場合、本人の意向が確認できず家族の意見になる事がある。利用開始時早急なケースの場合十分にニーズ情報が共有できず開始後のアセスメントとなる事が多かった。問い合わせから面談、契約まで時間や猶予がなく適切な支援についての確かな判断が出来ていなかったと感じたケースがあった。利用開始時は不安が強いと思うがじっくり話を聞く機会を持っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用者を受け入れる前に、ケアカンファレンスを実施し情報の共有を行う。サービス利用時に本人の思いと家族の思いが聞けるようにする。面接での聞き取りだけでなく事前にアンケートの形式にすることで事前に確認したい内容を聴き取れるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 (16:30 ~17:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 長谷川 千田 豊島 坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画
関係各種が情報共有しながらケアプランの作成が出来るようになったので、チーム内でミーティングや書面のノートだけでなく、意見をまとめるような話し合いの場や、書面上で意見が言える形でもよいので共通認識できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
毎日のミーティングの場で課題が出ると話し合いをし、対応を検討することがある。
話し合いをする場合、全員参加が出来ない為事前に用紙を作成し意見を求める事に取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	5		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	3		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	6		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	2	1	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
援助の方法について、先を考えて対応する事が出来ている。例えば、移乗の方法について多機能だけの方法でなく自宅での関わりを考えて検討している。自分が得た情報はすぐに伝えるようにしている。残存能力を生かしてできることはしてもらっている。入浴や訪問時の 1 対 1 で話をする機会に本人の思いを聞き取ることが出来ている。取り組んだケアや気づきについて、ミーティング等で情報の発信が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全ケースの目標を把握できていない。
利用者の目標と状態が合致していなかったり、長期、短期の目標が明確でなかったりする事がある。利用者と家族の関係性が希薄で、利用者・家族・専門職の共同がし難いケースあり。
本人や家族の状態が不安定な場合先の目標や直面するニーズが変化し対応に追われることが多い。本人の思いが状態状況によって変わる場合ニーズを把握することが出来ず目標に到達しない。その場の「したい」に応えていても目標に沿った関わりが出来ていない事がある。
利用者の家族と本人と思いが大きく異なり介護に生かせない事がある。日常の業務でケースファイルを開く機会がない為、ケアプランを見る機会を持っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
本人の状態に沿った、取り組みやすい短期目標を立てる。
本人のしたいことや先の見通しが分かることで日々のかかわり方がかわる。今の状態だけをみるのではなく、先の見通しを本人、家族と共有し、予測される状態を視野に入れたプランを検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 6 日 (16:30 ~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 長谷川 千田 豊島 坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	1人	7人

前回の改善計画
現在のアセスメントシート (情報シート) の家系図の欄が小さいので大きくして出来るだけ確認し記載するように変更する。また、幼少期、児童期など大きな年代から、個人の情報を記入できるシートを作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
家系図の欄や個人情報を記入できるシートの作成は出来ていない。日常の会話から生活歴を聴き取る事が出来ているケースはあるが、集約できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			4	3	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		6	1		7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	3		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	4	2		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	4	1	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々の訪問や通いにおいて些細な発言や行動を口頭で伝達したり気になる点や出来事を共有したりできている。本人、家族と相談し個別ケアを心がけている。 介助の内容は情報シートにあるので安全に出来ている。スタッフ同士で何か変化あればその都度情報共有している。本人が受け入れやすい工夫を考えて行っている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	以前の暮らし把握できていないことが多い。 多機能利用する際の情報が少ない為、個人の生活の流れがまだ分からない部分がある。スタッフにより支援方法が相違していることあり。各職員情報を持っているが集約できていない。 施設と自宅で行動が違い把握しきれない。その場での傾聴で終えて具体的な対応は出来ていないことが多い。本人の聞き取りが出来ない事(家族背景が複雑等)や、かかわりのある人が身近におらず把握できない事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	情報の収集方法として、日常的に情報を得る事が出来ている事から、それを集約する様式を作成し、引き継ぎノートに挟んで簡単に書き込んで情報が集約できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 2 月 6 日 (16 : 30~17 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 長谷川 千田 豊島 坂岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	3人	7人

前回の改善計画	日常生活の支援の改善計画のシートの中に地域での活動 (例: 婦人会活動・自治会活動・老人会など) 関わりがあった事も記入できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域での活動やかかわりがあった事について記入はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		1	5	1	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	4	1	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?			5	2	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	2	4	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族と同居していない方へは、電話で様子を伝えたり伝達事項を細かく行っている。 サービス利用しすぎて家族の機能を奪わないように気を付けている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の自宅での生活が把握しきれない。 施設内での事が多く、地域との関わりに参加する機会が少ない。地域資源を活用できていない。 本人の人間関係や事業所と接していない時間の把握が出来ていない。点では把握していることもあるが、経緯や流れで把握できておらず目のニーズを満たすことに追われている。情報が出ていても集約されていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 近隣住民から情報を得る事があるので、近隣住民との関係を築いていく。地域で過ごしやすくするために挨拶をする。地域資源はあんしんすこやかセンター等で確認する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 2 月 7 日 (14:10 ~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 長谷川 芦林 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	人	7人

前回の改善計画	サービス提供についてはこれまで通り柔軟に対応していく。 利用者によってもう少し個別に関わりが必要な方に対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	意見を出すことができているが、見直しが必要な内容などはケアマネ、家族での相談となるが時間を要する事がある。事業所と家族との関係性が薄いケースは話が進みにくい傾向があった。 柔軟な対応について、支援可能か、そうでないかの判断が曖昧で迷う事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	1	5		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	4	2		7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	4	2		7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	4	2		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の変化についてはミーティングで共有できている。 スタッフ全員急な事柄でも柔軟に対応できている、ケアマネ中心に関わりもできている。 体調や家族状況に合わせてなるべく訪問や通いを調整している。 困難ケースは1事業所で抱え込まず他事業所を巻き込むようにしている。在宅で過ごせるように適切に関われるように意識している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域との交流は実行しているが受け身で行っている傾向あり。 サービスの特性により担当者会議に他の職種が入らないケースがある。ミーティングで共有した内容が全職員に引き継がれていない。 通い訪問に関しては時間(迎えや送り)が柔軟性にかけると感じる。職員の人員不足の際に利用者の状態が良くない状況が重なると対応できない。 変化があっても口頭で終えていることがあり。日誌や分担、記録に上げるようにしている。次につなげずその場にいる人に伝えて終える事がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の資源について情報が少ない為、ボランティアや社会資源の情報について、他の多機能と情報交換を行い情報収集する。ケアプラン更新時のみでなく状態が大きく変わった際にもケアカンファレンスを開催する。変化があった場合は、情報が共有できるように引き継ぎの方法を見直す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 7 日 (14:10~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 長谷川 芦林 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	3人	2人	7人

前回の改善計画
<p>地域の活動や会議、集まりに一部職員が参加しているが、そこで何を話し、どういったメンバーが集まっているのか参加していない職員は知らない。事業所の代表として参加し、意見交換や情報提供など行っているのであれば、他の職員も地域活動の情報を知る事が出来るように、簡潔に参加者や内容、配布資料などまとめて閲覧できるようにしていく。</p> <p>ふれあい喫茶で地域の住民が事業所を訪れる機会があるが、参加がほとんど無い為、テーブルクロスや花を飾る等の喫茶の雰囲気づくり、地域への便りや、掲示板への張り紙等で情報を発信していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>職員体制が変わってから参加メンバーが変わり、より情報が得にくくなっている。</p> <p>施設代表で行く場合、サイボウズ(記録やメール等情報共有ツール)上で情報を提示するとわかりやすい。</p> <p>ふれあい喫茶の雰囲気づくりに関わっていないが、喫茶に参加する学生が参加者と交流が出来ておらず関わり方を見直すと良くなるのではないかな。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?		2	2	3	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	4	2	7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	1	4	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3		3	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の記事に参加している。消防団が参加する地域のイベントに参加した事あり。</p> <p>地域の交流会で子供たちがケアセンターに来ている。担当者会議やニーズに応じての他事業所との連携とれている。担当者会議情報を共有するようにしている。地域行事に参加できるように意識している。</p> <p>参加していなくても資料がファイリングされており目を通せる。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>立地の問題もあり、夏祭りや、交流会以外は地域の住民が事業所を訪れる事はほとんどない。また掲示板の張り紙が見にくい。</p> <p>ふれあい喫茶の在り方、目的がボランティアの学生と共有できていないように感じる。</p> <p>自治体、地域との関わりは出来ていない。多機能での業務従事に集中し、地域の会議に参加できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域の掲示板に情報が多い為、訪問や送迎時に情報を収集し、参加できるものがあれば参加する。</p> <p>ふれあい喫茶にて、学生と利用者が交流できるように関わりを見直す。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 7 日 (14 : 10～15 : 00)

7. 運営

メンバー 長谷川 芦林 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	3人	1人	7人

前回の改善計画	事業所の意見はいう事が出来ているが、反映出来ていない為、口頭だけでなく連絡ノートに記入する等での後の経過がわかるようにする。家族利用者等の意見については、担当者会議の場で確認し易いが集まって話合う機会が少ないので、事業所内の意見を集約する仕組みを作り担当者会議で意見交換できるようにする。会議で地域の情報を得た場合は、職員が閲覧できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネノートを作成し、経過を分かるようにしている。内容については反映されるまでに時間を要している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	2	4		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	2	1	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1		3	3	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	3	3	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見を出すことができている。 本人から本音を聞く機会があり、内容によっては改善に向けて相談する事もある。 地域会議の情報を閲覧できている。職員会議のレジュメを早めにだし参加しない人にも記入してもらうようにし意見をくみ取りやすくしている。 事業所の運営が良くなるように考え行動している。 送迎や訪問等のサービスの漏れが無いように対策を取っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域と協働した取り組みには参加していない。 運営推進会議における地域協働ができていない。地域との関わりや地域の意見を何かにつなげられているのかわからない。 地域からの意見・苦情を聞く機会がない。 積極的に地域と協働した取り組みはできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の人と良い関係を築けるように、近隣の住民にも挨拶をし必要時に意見を聞ける関係づくりを行う。 地域からの意見や情報については、ミーティングや連絡ノートで共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 7 日 (14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長谷川 芦林 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画
研修案内についての情報を収集、開示する事で、学びたい研修に参加しやすくする。 地域連絡会の開催時期があいまいな為参加できていないことがあるので、一覧にして参加忘れを防ぐ。 インシデント、事故報告を記入する時間が確保できない事があり、簡潔に記入できる様式の見直しを引き続き行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修の情報が少なかった。地域連絡会についても一覧に出来ておらず参加できる時のみ参加している。 インシデント、事故報告について簡潔な様式を作成し記入していたが継続せず、重要な件については正式な報告としてあげていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		7			7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2		7
③	地域連絡会に参加していますか			3	4	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	2	2	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	インシデント・事故報告を次に生かしている。他部署の分含めて。事故・インシデントが起きると職員間で話しあって対応策を検討している。 多機能連絡会や事業所内での研修は定期的に参加・実施できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	様々な研修について、施設として情報が入っていると思われるが把握できていない。 研修に参加したいが参加する時間がとれない。地域連絡会はほとんど参加していない。 スキルアップを目的とした外部への研修や地域連絡会への参加が不十分である。多機能業務の為参加できず。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	研修内容についての情報が少ない為、法人単位で届いていると思われる冊子があれば確認し、希望する研修があれば参加できる体制を整える。実際に情報を得ることで関心を持つことができ知識の幅を広げる事が出来る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 7 日 (14 : 10～15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 長谷川 芦林 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	1人	人	7人

前回の改善計画	<p>利用者についての引き継ぎは、プライバシーを守る為に引き継ぎの場所、職員同士の距離感を考えて行う。職員の利用者への声掛けが余裕がないと感じられる場合は、他の職員に関わりを代わってもらするなど、余裕の持った声掛けが出来るようにする。 家族との話し合いや相談、担当者会議等は、別のフロアや個室で話し合いをすることで個人情報を守る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ミーティングや話し合いの場所をデイルームから離れて行っている。利用者の状態によっては関わりに余裕がなくなることもある為職員間で声を掛け合い交代で関わったりすることが出来ていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2			7
②	虐待は行われていない	4	3			7
③	プライバシーが守られている	2	5			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	5	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	5			7

できている点	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者のことを考えて安全に介助している。利用者の情報共有はスタッフルームで行っている。 不適切なケアにつながらぬように余裕を持つよう心掛けている。 プライバシーへの配慮・身体拘束への意識付けができている。 利用者から離れて引き継ぎを行うように心がけている。</p>
--------	---

できていない点	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の体調の変化に早く対応していない。 他の利用者に聞こえる声で引き継ぎしていることあり。日誌のボードを利用者の目に付くところに置いている事がある。引き継ぐ環境よりも引き継ぎを優先してしまうことがある。 現在成年後見制度の活用対象者はいない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>個人の引き継ぎはプライバシーの保護の為、職員間の距離を縮めるなど引き継ぎの場所とトーンに配慮する。臭いについても事前に予測して消臭剤を使用するなどしてお互いが気持ちよく過ごせるように心がける。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田 理紗	法人・ 事業所 の特徴	利用登録者のサービス内容について、通いが少なく訪問が多い事が特徴である。医療の連携をきちんと取るようにしており、主治医に生活状況の報告、相談や、診療に立ち会うなど行っている。
事業所名	高齢者ケアセンター甲南 小規模多機能サービス	管理者	金 智英		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	3人	0人	1人	2人	1人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	一つ一つ計画を立てていくが、実現可能な物で更に、優先順位を決めて計画を立てていく	優先順位に沿って取り組むことは出来なかったが、複数の職員が施設外の会議等に出向くことが増えてきている。	全員で取り組む事が出来ており、事業所自己評価に全員の意見を参考に検討されている。	事業所自己評価の取り組み内容をスタッフルーム内に掲示し、取り組む意識を持てるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	③事業所内の雰囲気を出来るだけ家庭的で心地よいものにしていく。	不要なものは整理、処分し、季節の飾りを飾って過ごしやすい雰囲気を作った。	環境面で特に気になった事はなかった。過ごしやすい雰囲気と思う。エレベーター使用時に暗証番号入力が必要になった事を確認。	空調の当たり方や机の配置、雰囲気など、どのような空間が過ごしやすいかを利用者と一緒に考える。
C. 事業所と地域のかかわり	①小規模多機能単体ではなく、拠点を上げて、地域の交流を図っていく。	ケアセンター甲南としては、地域においてシニアクラブを立ち上げており、わからないことを質問したりできている。	地域の人だけでなくケアマネでもなかなか小規模多機能の事を知らない事がある。送迎車に事業所名は入っておらず利用者宅の近隣の方は事業所を知らない事が多い。	地域の会議に参加し、事業所を知ってもらう機会を作る。ふれあい喫茶で学生と利用者が交流できるように関わりを見直す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	②世代間交流と夏祭りを実施していく。また、利用者一人ひとりの関係性については、その地域でどのように関わってこられたのか(例、自治会長、PTA 活動を行っていたなど)を確認できる方から取り組む。	今年度は、大雨の影響で夏祭りの準備をしていたが実施できなかった。地域での役割については、会話の中でごく一部の方のみ聞くことが出来ている。	会議でスライドの紹介があるので利用者と外出は出来ていると思う。夏祭りはとても楽しみにしているので続けてもらいたい。	地域の情報について訪問や送迎時に掲示板などから情報を収集し参加できるものがあれば参加する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	④他の施設の運営推進会議に職員が参加できる機会を設ける。自施設の会議においても交代で職員が参加できるようにする。	うはら多機能の運営推進会議に参加している。自施設の会議では新たにケアマネが参加する機会を持つことが出来た。	地域の心配の方の事例検討は行っていないが聞く機会がない。運営推進会議では、利用者の過ごし方など紹介あり理解しやすい。	自施設の会議に職員の参加の機会を増やす。

F. 事業所の 防災・災害対策	⑤土砂災害マニュアルについて、修正が必要であるか検討する。	土砂災害マニュアルについては作成できていない。	今年は大雨により避難勧告が出る事が多かった。福祉避難所ではあるが、土砂災害警戒区域にも指定されている事から実際に使用は可能なのか。防災計画は火災のみ作成されている。	土砂災害マニュアルを整える。
--------------------	-------------------------------	-------------------------	--	----------------